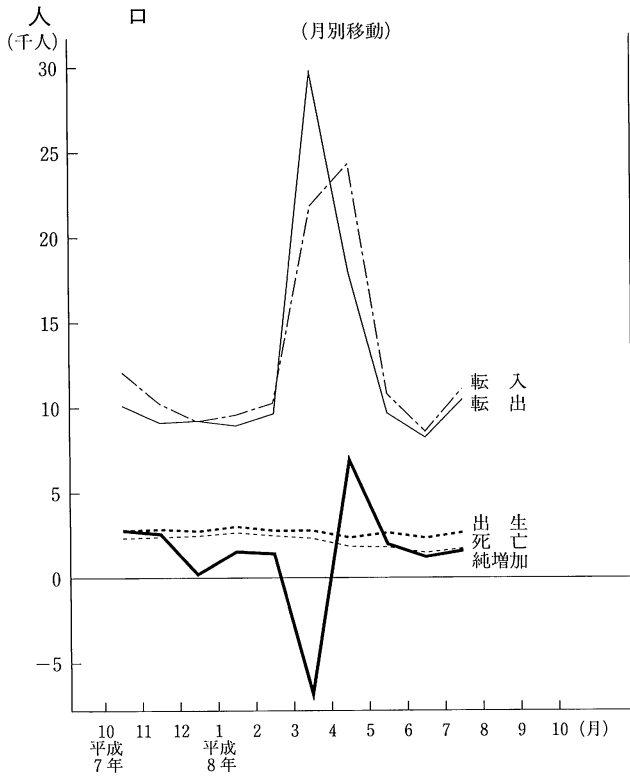
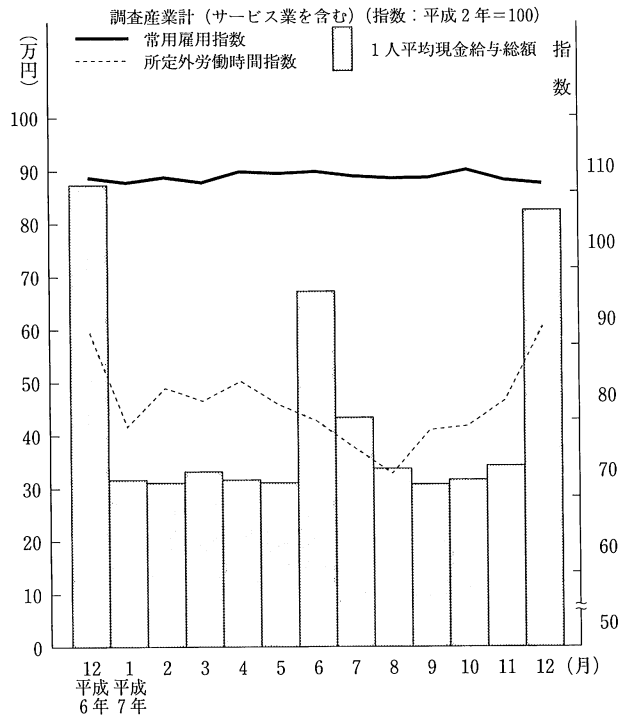


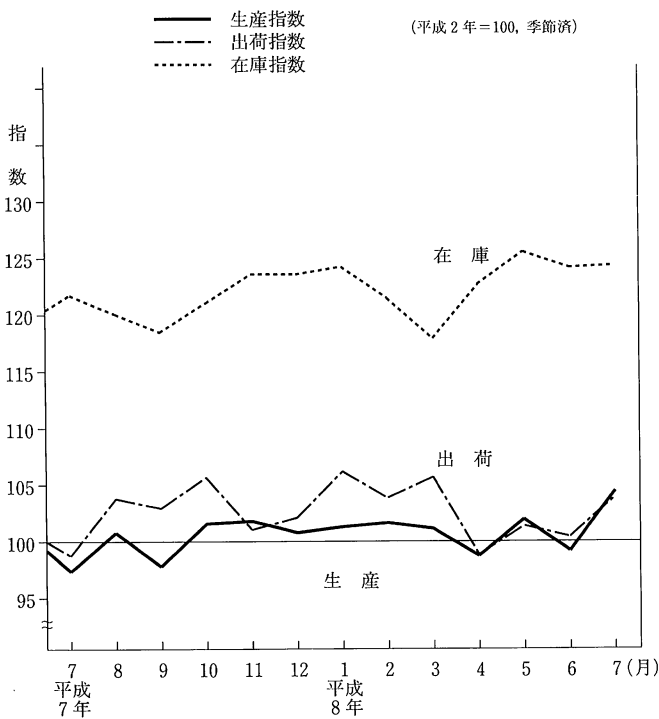
今月の主な動き



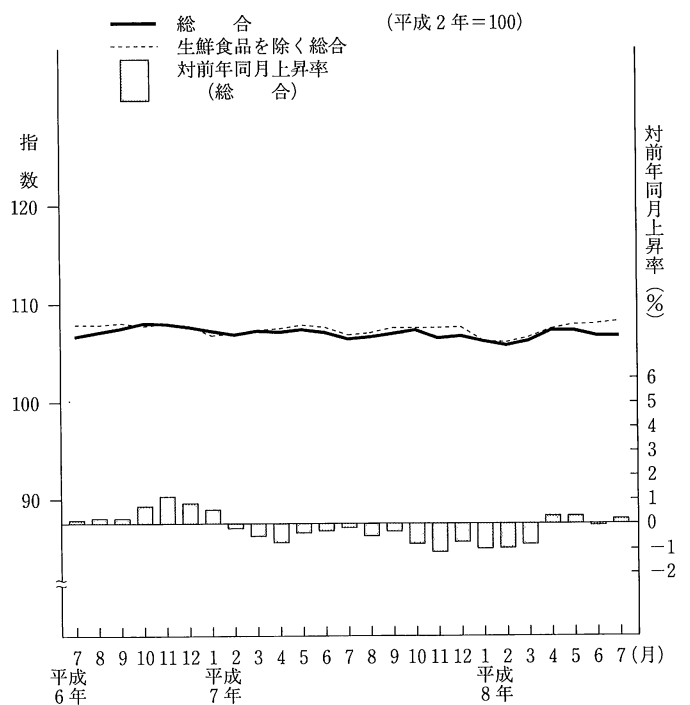
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口（8月1日）

本県の人口は、7月中に1,587人増加し、8月1日現在で、2,966,049人（男1,481,842人、女1,484,207人）となった。

内訳は、自然動態で、934人（出生2,652人、死亡1,718人）増加し、社会動態で、653人（転入11,150人、転出10,497人）増加した。前年同月と比べると2,961人（0.1%）の増加で

ある。

市町村別では、増加が11市45町村、減少が8市19町村、増減なしが1市1町である。

世帯数についても7月中に959世帯増加し、936,484世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（12月）

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で821,860円、対前年同月比5.7%減、このうち、きまって支給する給与は305,132円、対前年同月比もちあいであった。また、このうち、所定内給与は275,232円、対前年同月比0.3%減であり、超過労働給与は29,900円、対前年同月比3.3%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.5%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。
平成8年1月分の速報値は、平成8年抽出替えに伴うギャップを修正した後、公表の予定です。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で165.3時間、対前年同月比0.5%増であった。このうち、所定内労働時間は149.4時間、対前年同月比0.5%増、所定外労働時間は、15.9時間、対前年同月比もちあいであった。

3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.2%減であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（7月）

本県における平成8年7月の“鉱工業指数”（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が103.9、出荷が104.1、在庫が123.1で、前月比は、生産が5.1%の上昇、出荷が3.5%の上昇、在庫が0.1%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が6.7%の上昇、出荷が5.4%の上昇、在庫が1.5%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、化学工業、精密機械工業等が上昇し、一般機械工業、輸送機械工業、電気機械工業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工業、化学工業、精密機械工業等が上昇し、

一般機械工業、輸送機械工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、化学工業、精密機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、金属製品工業、鉄鋼業等が低下した。

財別にみると、生産では、その他用生産財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。出荷では、その他用生産財、鉱工業用生産財等が上昇し、資本財が低下した。在庫では、鉱工業用生産財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。

■消費者物価指数（7月）

平成8年7月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で106.7（平成2年=100）となり、前年比0.4%の下落、前年同月比0.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……野菜・海草5.7%、果物5.3%

今月の下がった主な項目……シャツ・下着6.0%、衣料5.7%、生地・他の被服類2.3%

生鮮食品を除く総合は107.2となり、前月比0.6%の下落、前年同月比0.1%の上昇であった。

■費目別指数

（平成2年=100）

区 分	指数	上昇率（%）		区 分	指数	上昇率（%）	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	106.7	△0.4	0.2	保健医療	103.9	△0.3	0.5
食 料	104.4	0.5	0.1	交通通信	99.1	0.0	△0.1
住 居	118.4	△0.2	1.7	教 育	120.2	0.0	2.9
光熱・水道	102.0	0.5	△0.3	教養娯楽	108.5	0.1	0.4
家具・家事用品	93.7	△0.8	△3.1	諸 雑 費	104.5	△0.2	△0.8
被服及び履物	108.1	△4.7	△1.3	生鮮食品を除く総合	107.2	△0.6	0.1